



新着本案内10月号

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館
令和7年10月7日

『人の作品を使いたいときは何をする?著作権のトリセツ 1〜3』上沼紫野監修 (021.2/ウ/1〜3)



著作物を扱う際の、実用的な部分を抜き出して解説しているシリーズです。
①「引用しよう」、②「許可を取ろう」
③「自由に使えるとき」の全3巻。

『こどもリスクマネジメント』バウンド著 (159.5/バ)



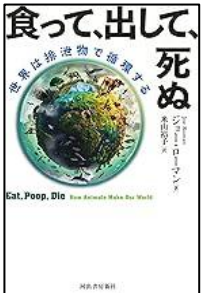
リスクマネジメントとは、「危機の未然防止」と「危機が起こったときの最悪の事態を防ぐ対応」のことです。この本では、危機に直面したときどのように考え・行動するべきかを導きます。

『アカデミックマインド育成講座』東大カルペ・ディエム著 (375/ト)



アカデミックマインドとは、「問いをたてる⇒仮説をたてる⇒検証する」という一連の思考法のことです。この本では、アカデミックマインドを身につける方法を教えてください。

『食って、出して、死ぬ』ジョー・ローマン著 (468/口)



普段は目を背けられがちな動物たちの糞尿や死骸にスポットをあてたノンフィクションです。動物の糞尿や死骸が、地球にどのような影響を与えているのかが綴られています。

『東大卒、じいちゃんの田んぼを継ぐ』米利休著 (611.7/コ)



「じいちゃんの米を守りたい」と、廃業寸前の米農家を継いだ東大卒の26歳。熱い思いがSNSを駆け巡り、やがて日本の食卓を、農業の未来を変えていくリアルストーリーです。

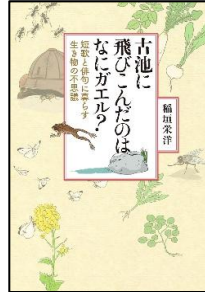
『世界のスゴイ彫刻』佐藤晃子著 (710/サ)



有名な作品からマイナーな作品まで、約70点のスゴイ彫刻をビジュアルで紹介してます。彫刻作品の楽しみ方や、彫刻の歴史もわかります。

□■□ 文学作品 □■□

『古池に飛びこんだのはなにガエル?』稲垣栄洋著 (911/ア)



著名な生物学者である著者が、短歌や俳句で描かれている生き物を解き明かします。短歌や俳句が好きな方はもちろん、生き物に興味がある方にもおすすめの一冊です。

『ひらりと天狗』明里桜良著 (913.6/アカ)



☆日本ファンタジーノベル大賞受賞☆
就職を機に母の実家で一人暮らしを始めたひらり。ある日、母の家系は代々、天狗に願掛けをする特殊な役割を担う家だと知る。

『光が死んだ夏 1・2』モクモくれん原作/額賀滯著 (913.6/ヌカ/1・2)



現在アニメ放送中の大人気コミックのノベライズ！幼馴染の光が別のナニカにすり替わっていることに気づいてしまった佳紀。時を同じくして、集落では怪奇現象が起きるようになった。

『アキツ大戦記 1・2』扶桑かつみ著 (913.6/フソ/1・2)



人間による産業革命で武器が魔法を凌駕し、魔人たちは極東の国家「アキツ」へと追いやられる。そして、アキツ軍の偵察隊・甲斐は人間が戦争の準備をしていることを目のあたりにする。

『涙の箱』ハン・ガン作 (929.13/ハン)



ノーベル文学賞作家が描く、大人のための童話。泣き虫な子どもの前に涙を集めている男が現れた。男は「純粋な涙」を探していると話し、子どもがそれを持っていると言うのだが...

『断食芸人』フランツ・カフカ著 (943.7/カフ)



『乙女の本棚』シリーズ最新作！
断食芸を生業にする男。一世を風靡したその芸も、今では見向きもされない。それでも男は断食を続ける。